

# 会 議 議 事 録

会議の 名 称	生命倫理委員会	日 時	平成27年12月17日(木)17:00~18:00
		場 所	大 会 議 室
出席者	委員長：森村統括診療部長 委 員：澤田臨床研究部長、内炭救急部長（欠）、柳田診療部長、 竹内外部委員、松・外部委員、光木看護部長 (書記) 庶務係長		
議 題 及 び 討 議 事 項			
<p>【パーキンソン病患者のON-OFF症状の思いについて】</p> <p>受付番号：27-28 頁数：1~10頁          (申請者：看護部3-2病棟 看護師 甲斐 鮎美)</p> <p>申請者説明</p> <p>現在、A病棟にはパーキンソン病患者が多く入院しており、主に薬物療法でL-Dopa製剤で症状のコントロールを行っている。パーキンソン病患者は内服の長期化に伴い、ON-OFF現象、wearing-off現象、不随意運動といった副作用の出現があり、スムーズに歩行出来ている状態から急に身体が動かなくなることがある。また、看護師から見ると今はON状態であると判断できる状態であるのに患者はOFFと思っている時もあり、看護師と患者のON-OFF現象の捉え方にずれがあると感じる時がある。看護師は実際にOFF症状になっている患者に対して、休息を促したり、必要な時は介助を行い、辛い気持ちを傾聴したりしている。しかし、患者がうまく気持ちを伝えにくい状況でもあるOFF症状時に本当に患者が望んでいることはそれでいいのかと思う時がある。患者がOFF症状の際に感じている思いやOFF症状の認識についてON状態の時に聞き取り、患者がOFF症状時安心して過ごせるような援助につなげていきたい。</p> <p>審査内容：特に問題なし。</p> <p>審査結果：承認。</p>			

